

産業・地域・教育が連携した雇用戦略 (参考資料)

平成20年4月23日
甘利議員提出資料

地域の産業界と大学が連携した実践的な人材育成

(産学連携製造中核人材育成事業の成果事例：岩手大学における取組)

- 岩手大学では、金型や鋳造に関する実践的な人材育成プログラムを開発し、平成18年4月に国内初となる金型・鋳造工学専攻の大学院を開設。
- これまでに地場産業からの派遣10名を含む28名を育成。今年3月には卒業生14名を輩出するなど地域の産業人材の育成に貢献。

【岩手大学大学院 工学研究科 金型・鋳造工学専攻の主な特徴】

- インターンシップの実施や就職の受入れ等、地元の産業界が十分なバックアップ体制を構築。
(例：6ヶ月の長期インターンシップの実施に16社が協力)
- 教員、講師の7割が企業出身等の実務経験者
- 大学の既卒者でなくても入学可能
- さらに、岩手大学の取組を参考として、他大学（九工大、岐阜大、群馬大）においても金型分野の専攻コース等を開設する等、波及効果が拡大

● 盛岡市
(岩手大学大学院工学研究科)

● 北上市
(岩手大学北上サテライト：
金型技術研究センター)

● 奥州市
(岩手大学水沢サテライト：
鋳造技術研究センター)

鋳造コース



金型コース



地域の関係者が連携した人材育成：企業立地促進法

- ・企業立地促進法では、地域の産業振興戦略に沿って、地方の自治体、産業界、教育機関などが連携して行う人材育成事業に対して、国がサポート。
(平成20年度：人材育成事業として57地域を支援)

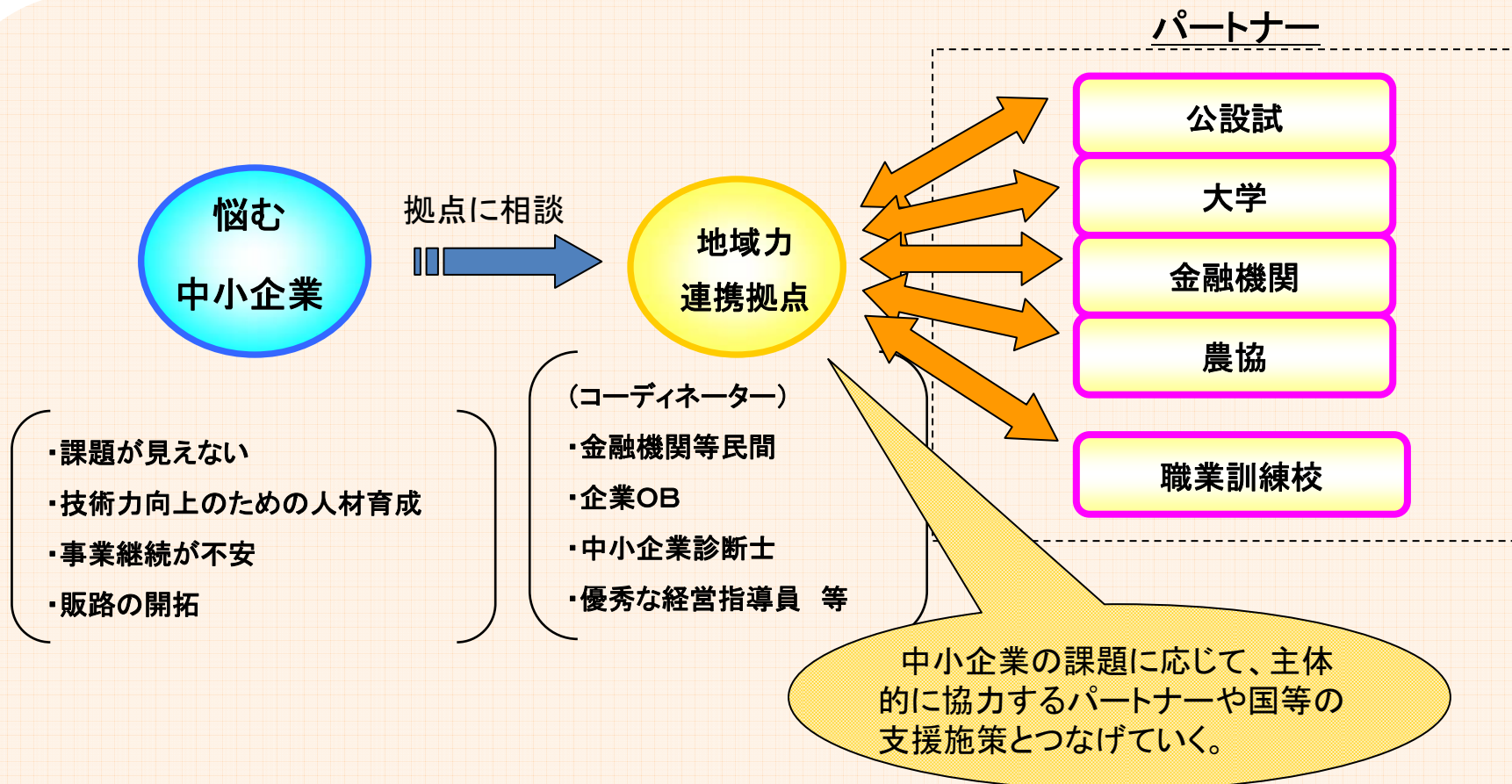
地域における代表的な連携事例



地域力連携拠点を通じた人材育成の推進

- 中小企業の様々な課題に対して、多様な支援メニューをワンストップで提供できるよう、地域の対応の窓口となる「地域力連携拠点」を全国に約300カ所程度設置し、5月中にも事業を開始予定。
- 中小企業のためには、連携拠点のパートナーとして地域の職業訓練校が、ニーズに合った訓練を提供することが課題。

「つながり(共同事業)」によるワンストップサービスの実現



○ 全国300程度の拠点到合計500名程度のコーディネーターを設置